

<p><b>【技術の名称】</b>                  DMJ(ダブルメタル・ジョイント)工法                  -杭状地盤補強材機械式継手工法-</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第11-26号                  性能証明発効日：2012年2月27日</p> <p><b>【取得者】</b>                  株式会社 本陣</p>
--	--

**【技術の概要】**

DMJ 工法は、杭状地盤補強材（以下、「杭鋼管」という。）を対象とした現場溶接を行わない継手（以下、「DMJ 継手」という。）工法である。本工法は、上杭鋼管と下杭鋼管をそれぞれについて、内リングで補強された杭鋼管端部と継手製品（カプラー）を嵌合させ、杭鋼管端部とカプラーをボルト接合することで、現場溶接を行なうことなく杭鋼管を接合する技術である。なお、本工法では上杭鋼管と下杭鋼管の密着（接触）により、軸力の伝達を図っている。

**【技術開発の趣旨】**

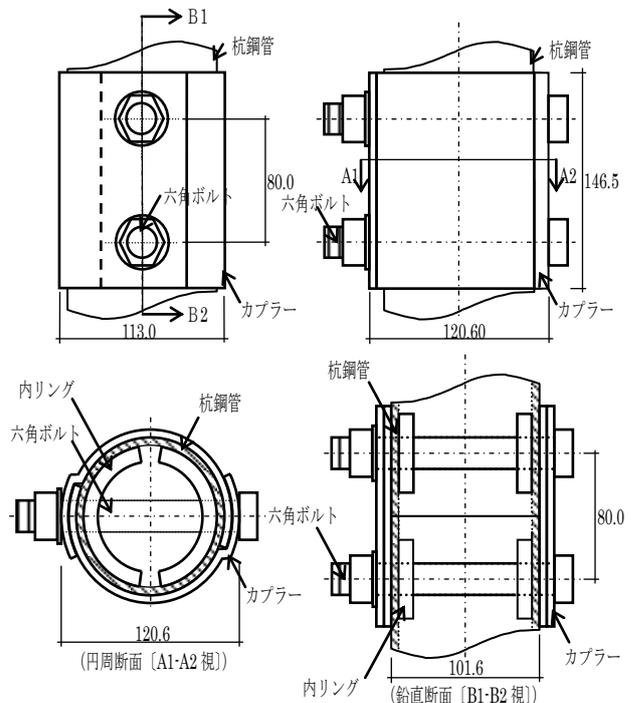
従来、杭鋼管の接合には主に現場溶接継手により行われているが、接合部の品質は溶接作業者の技量および溶接作業環境に依存することが多く、品質の確保が懸念される。本工法は、現場作業の簡素化と品質の向上を意図して現場溶接を行わない杭鋼管の接合方法を開発したものである。

**【性能証明の内容】**

本工法の製造マニュアル、施工マニュアルに従って製造、施工された DMJ 継手を有する杭鋼管は、施工マニュアルに規定する杭鋼管回転貫入時の回転トルク制限値に対して必要なねじり耐力を有し、短期許容圧縮耐力として 145kN を採用できると判断される。

表 DMJ 工法の適用範囲

項目	内容
杭鋼管	外径：101.6mm(肉厚：4.0~6.0mm) 材質：STK400(JIS G 3444)
継手部品	カプラー：SAPH440(JIS G 3113) 内リング：SS400(JIS G 3101) 六角ボルト：M20(JIS B 1180)
短期許容圧縮耐力	145kN
継手箇所数	杭状地盤補強工法の杭に対して1ヶ所とする。
適用構造物	・小規模建築物 ・高さ3.5m以下の擁壁及び看板等の工作物。
杭鋼管と基礎の接合	杭鋼管と建築物の基礎との接合は、杭鋼管に主として圧縮力を伝える接合方法とする。なお、杭鋼管の頭部は基礎と補強筋で補強しないものとする。
杭鋼管の施工法	回転貫入工法（杭鋼管施工時の回転トルクは5.7kN・m以下とする。）
その他	継手部より上部の摩擦力は見込まないものとする。



**【本技術の問合せ先】**

株式会社 本陣 担当者：早川忠彦 E-mail：info@honjin.cc  
 〒461-0048 名古屋市東区矢田南三丁目13番7号 TEL：052-722-3000 FAX：052-722-8311